

オンブバッタが通過できない網目サイズとネットを用いた防除に関する一考察（短報）

松本英治・藤本 伸

香川県農業試験場研究報告 第58号（2006年3月） 65－70

香川県の露地ギクでは、2000年頃からオンブバッタによる葉の食害が増加している。被害が生じる夏季には、キク圃場に隣接した雑草地でオンブバッタが容易に発見され、雑草地に接した畝で食害が散見されることから、雑草地で繁殖した幼虫と成虫が圃場に侵入して加害していることが推察される。このような状況では、圃場と雑草地の間に障壁をおいて侵入を防止することが有効な防除法になると思われる。そこで、障壁にネットを用いることを想定し、オンブバッタが通過できない目合いの大きさを検討した。さらに、1mm目合いのネットを用い、侵入防止に関する若干の検討を行った。

キーワード：オンブバッタ、ネット